

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、賃金引上げのモメンタムの維持や経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、経営資源の成長分野への重点的な投入、従業員の能力開発やスキル向上等を通じて、持続的な成長と生産性向上に取り組み、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、「賃金決定の大原則」に則り、当社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、それ以外の総合的な処遇改善としても、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、教育訓練等を中心に積極的に取り組むことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

(個別項目)

具体的には、社内外の情勢や人事評価を通じて、会社収益の適正な分配・還元に努めるとともに、「個人の力」と「組織の力」を最大化させ続けるために、従業員ひとりひとりに寄り添った「生涯 GDP」に取り組んでまいります。上司・部下間でのキャリア開発のための対話時間の創出や、会社によるグループ内の仕事情報の公開、自律的なキャリア開発を後押しする研修や学びの機会の提供、合わせて、自律的なキャリア開発のための制度の拡充を行うことで、全従業員が自身のキャリアについて主体的に考え、将来のキャリア目標の達成と継続的な成長に繋がられるよう、支援してまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。なお、パートナーシップ構築宣言のポータルサイトへの掲載は取りやめとなった場合、マルチステークホルダー方針の公表を自動的に取り下げます。

・パートナーシップ構築宣言のURL

<https://www.biz-partnership.jp/declaration/86004-10-00-tokyo.pdf>

また、消費税の免税事業者との取引関係についても、政府が公表する免税事業者及びその取引先のインボイス制度への対応に関する考え方を参照し、適切な関係の構築に取り組んでまいります。

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、「ステークホルダーエンゲージメント方針」を策定し、全てのステークホルダーとバランス良く、未来志向で友好的な対話やコミュニケーションを通じて Win-Win の関係性を構築し、社会価値向上および企業価値向上に寄与していきます。そのため、ステークホルダーからの重要なご意見を経営の意思決定に活用する仕組みづくりを強化していきま

す。また、社会課題や経営課題の認識につながる手段と位置づけ、日頃より積極的なコミュニケーション活動に励んでまいります。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和 5 年 4 月 27 日

(令和 7 年 3 月 18 日 令和 6 年度税制改正変更による更新)

株式会社三越伊勢丹 代表取締役社長執行役員 細谷 敏幸